

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
大台町	長ヶ地区（長ヶ集落）	令和元年9月29日	年 月 日

1 対象区域の現状

①地区内の耕地面積	28.1 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	15.3 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	7.5 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	7.5 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0 ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	7.13 ha
(備考) 地区内の農地所有者数：122名 内、機構集積の対象となる農地所有者：75名（アンケート対象者） アンケート回答者数：53名 回答率：71%	

注1：③の「70才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2：④の面積は、下記の「（参考）中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3：アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4：プランには、話し合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

長ヶ集落は、町の東部に位置し、集落内に一級河川「宮川」が流れ、その川沿いの左岸に約28.1ha（内、農振農用地 田：14.6ha、畑：2.2ha 合計16.8ha）の農地が広がる集落である。

近年、農業者の高齢化や担い手の不足が顕著に表れ、約33名の農業者（水稻及び茶）の多くが自給的農家や兼業農家が中心の地域で、生産した米の約75%は自家消費や縁故販売で占められており、専門的に経営を担う経営体も皆無に等しい状況である。また、農業機械の更新に係る費用が高額であることに加え、地域全体の問題である獣害対策に労力やコストが農業経営を圧迫している状況である。

地域の農地の現状では、小区画で農地の立地も悪く大型機械が入りにくいところも混在しているが、平成元年度～5年度にかけて実施した新農業構造改善事業により区画整理を行い比較的基盤整備は進み、平成17年度から元気な地域づくり交付金事業（基盤整備促進事業）により農業用水路のパイプライン化が進められており、効率的な水田営農を展開するために必要な条件整備は整いつつある。

しかし、年々、農地を維持できない農業者や農地所有者が増加し、それに伴い町外の法人に利用権設定し耕作委任している方が増加してきている。このような中で、自分たちの集落の農地はできる限り自分たちで守っていきいたいことから集落ぐるみで農地を守る体制づくりとして集落営農組合を組織し、中心経営体と連携しながら将来に渡る農地の確保・利用に努める。

注：「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

長ヶ集落では、集落営農組合を発足し、当面は中心経営体と連携しながら集落内の基盤整備及びパイプライン化されたほ場を中心に集積集約化を図り、長ヶ集落営農ビジョンに基づき営農を行う。

今後は、集落営農組合の法人化を行い、下記の中心経営体から営農を移行していく。

注1：中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2：「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

今後の地域の中心となる経営体（中心経営体）

属性	農業者	現状		今後の農地の引受けの意向			備考
	(氏名・名称)	経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
集	長ヶ営農組合さとこい	水稻	0 ha	水稻	9.20 ha	大台町長ヶ地内	2～3年後に法人化、農地集積を行う予定
認農	経営体A	水稻	0.33 ha	水稻	(1.85) ha	大台町長ヶ地内	長ヶ営農組合オペレーター
認農	経営体B	水稻、野菜	0.77 ha	水稻、野菜	(2.24) ha	大台町長ヶ地内	長ヶ営農組合オペレーター
認農	経営体C	水稻	0.27 ha	水稻	(0.93) ha	大台町長ヶ地内	長ヶ営農組合オペレーター
認農	経営体D	水稻	0.30 ha	水稻	(0.95) ha	大台町長ヶ地内	長ヶ営農組合オペレーター
認農	経営体E	水稻	0.00 ha	水稻	(0.78) ha	大台町長ヶ地内	長ヶ営農組合オペレーター
認農	経営体F	水稻、野菜	0.15 ha	水稻、野菜	(1.37) ha	大台町長ヶ地内	長ヶ営農組合オペレーター
認農	経営体G	水稻	0.25 ha	水稻	(1.08) ha	大台町長ヶ地内	長ヶ営農組合オペレーター
			ha		ha		
			ha		ha		
計	8人		2.07 ha		9.20 ha		

注1：「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2：「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3：「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

農地の貸付け等の意向	貸付け等の意向が確認された農地は、水田を中心に114筆、9.2haとなっている。そのうち、4.1haについては農地中間管理機構を活用し、中心経営体に農地が貸し付けられる見込みである。今後は、営農組合の法人化に併せ、4.1haを含む9.2haについて機構集積を行う予定である。
農地中間管理機構の活用方針	将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地は機構に貸し付ける方針である。 集落営農組織が中心となって調整を行い、機構を通じ中心経営体に貸付けを進めていく。今後は、集落営農組合の法人化を進め、現在の中心経営体から営農を移行し、再集積を行う。
新規・特産化作物の導入方針	集落の農地の大半は水田であるが、稲作だけでは収益性が期待できないことから、町が推奨する白ネギなどの収益性の高い品目や、町の特産品の原料であるフキ、エゴマ栽培など需要の高い品目の栽培を推進し、地域農業の維持・発展をしていく。
鳥獣被害防止対策の取組方針	集落ぐるみの取組みとして集落環境診断を実施し、鳥獣被害対策の集落点検マップ（侵入防止柵や捕獲檻の設置状況、放任果樹や目撃・被害の発生状況等）の作成と管理を行う。捕獲については、既に集落の狩猟免許所持者で捕獲隊を編成し実施していることから、今後も継続していく。
災害対策への取組方針	多面的機能支払活動組織や中山間地域等直接支払協定集落、営農組合が連携して、パイプライン関係施設やため池の点検や機能診断などを実施し水害等の被害防止に努める。

農地の貸付け等の意向

	農地の在所（地番）	貸付け等の区分（㎡）		
		貸付け	作業委託	売渡
1	別紙			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
	計			

注：農業委員・農地利用最適化推進委員が農地の貸付け等の意向を確認した面積を農地利用最適化交付金の成果実績払いの対象とする場合には、人・農地プランにおいて地番、面積を記載することが必要です。

（留意事項）

本様式をそのまま公表様式として活用する場合には、中心経営体の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、本人の同意を得る等個人情報保護条例等に抵触しないよう留意してください。

なお、本人の同意が得られない場合には、その方の氏名を伏せるなど、個人が識別されないよう留意してください。

農地の貸付け等の意向者一覧

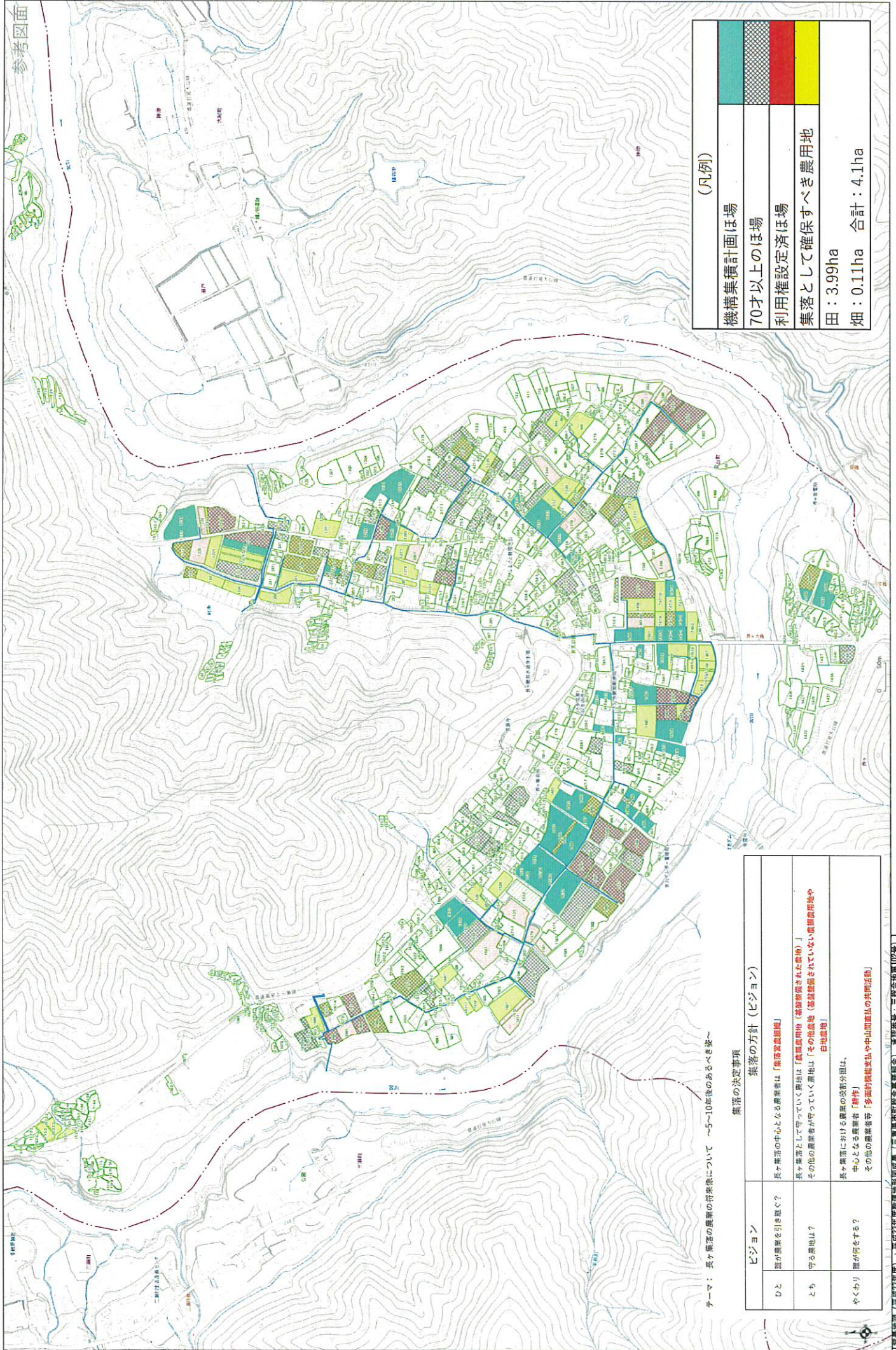
大字名	小字名	地番	枝番	孫番	筆コード	面積 台帳(㎡)	面積・ 利用(㎡)	台帳 地目	現況 地目	利用 地目	貸付等 意向
長ヶ	字里中	1518	2	0	10021265	1263	1263	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字池下	1218	0	0	10019555	1062	1062	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1499	0	0	10021261	2069	2069	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1518	1	0	10021164	1264	1264	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1572	0	0	10021308	2581	2581	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字池下	1234	0	0	10019462	1894	1894	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	918	1	0	10021383	203	203	畑	畑	畑	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1478	0	0	10021398	1866	1866	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1479	0	0	10021396	399	399	畑	田	畑	機構へ貸付
長ヶ	字里中	928	0	0	10021397	479	479	原野	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1493	0	0	10021240	1480	1480	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1495	0	0	10021244	495	495	畑	畑	畑	機構へ貸付
長ヶ	字池下	1233	0	0	10049281	728	728	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里口	1633	0	0	10021621	1175	1175	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里口	1636	0	0	10021526	946	946	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里口	1637	0	0	10021611	357	357	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里東	438	2	0B01	10046025	157	157	畑	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里東	438	3	0	10020000	205	205	畑	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里東	425	2	0	10019966	285	285	畑	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里東	1354	0	0	10019976	864	864	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里東	1355	0	0	10019987	680	680	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字川向	1443	0	0	10020367	697	697	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字川向	1448	0	0	10020365	361	361	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字川向	1444	0	0	10020362	882	882	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字池下	236	1	0B01	10045963	250	250	畑	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字池下	1256	0	0	10049214	697	697	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字池下	1295	0	0	10019603	454	454	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里東	1311	0	0	10019903	1263	1263	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里東	1315	0	0	10049227	1571	1571	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里東	1353	0	0	10019974	1598	1598	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1464	0	0	10020956	1093	1093	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	747	7	0	10020938	401	401	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	747	8	0	10020939	399	399	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	844	1	0	10021224	380	380	畑	畑	畑	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1501	0	0	10021253	757	757	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1516	0	0	10021160	831	831	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1521	0	0	10021320	408	408	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1497	0	0	10021258	514	514	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	908	0	0B02	10046102	130	130	畑	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1484	0	0	10021363	696	696	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1488	0	0	10049268	549	549	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1520	0	0	10049233	154	154	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1502	0	0	10021257	1634	1634	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	842	1	0	10021218	277	277	畑	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	842	5	0	10021222	267	267	宅地	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	744	8	0B02	10020909	791	791	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	749	5	0B02	10020952	674	674	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	931	2	0	10021405	265	265	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	1482	0	0	10021404	1177	1177	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	747	1	0	10020932	389	389	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	747	2	0	10020933	489	489	田	田	田	機構へ貸付
長ヶ	字里中	747	4	0	10020935	512	512	田	田	田	機構へ貸付

41012

1 貸付面積

	㎡	ha
田	39,934	3.99
畑	1,078	0.11
合計	41,012	4.10

	㎡	ha
長営-1	17,173	1.72
長営-2	15,920	1.59
長営-3	7,919	0.79
合計	41,012	4.10



ビジョン		集落の方針（ビジョン）
ひと	誰が農業を引き継ぐ？	長ヶ集落の中心となる農業者は「 集落営農組織 」
とち	守る農地は？	集ヶ集落として守っていく農地は「 農地確保地（集落整備された農地） 」 その他の農業者が守っていく農地は「 その他農地（整備整備されていない農地・農用域や白地農地） 」
やくわり	誰が何をやる？	集ヶ集落における農業の役割分担は、 中心となる農業者「 耕作 」 その他の農業者等「 多面的機能の実現や中山間地域の共同活動 」